

知事への
重点要望

国際ふ頭第2バース・港湾道路建設促進 舞鶴の造船産業重要性和新産業創出を

西脇知事との懇談会は、午後3時から京都府商工会議所連合会の塚本能交会長（京都商工会議所会頭）の開会あいさつからはじまり、府内の8商工会議所会頭が要望内容を順次説明し、知事が前半と後半に分けて回答をする形式で進みました。

舞鶴商工会議所の要望については、小西会頭が最初の説明者として発言。

はじめに、京都舞鶴港の機能強化について、「7月7日知事を会長とする『京都舞鶴港振興促進協議会』が設立された。府北部経済にとどまらず日本の成長戦略を左右するプロジェクトであり、国際ふ頭第2バースの新規着手など、整備促進へ向け来年度予算への計上」について取り組みの強化を要請しました。

また、JMU関係の対策については、「海洋国家日本にとって造船は、経済だけでなく安全保障上も重要な基幹産業。ことに舞鶴事業所は、日本海側唯一最



小西会頭が西脇京都府知事（手前）に要望

大の大型造船所であり、『造船の火種』を残すことがなにより重要。地の利を活かしながら人財・技術・設備が利用できる新分野への展開などを含め、国に対して意見具申ができるのは、西脇知事をおいてない」と、国への働き掛けを要望しました。

これに対し、西脇知事からは、“京都舞鶴港の機能強化”につ

いては、「喫緊の課題。舞鶴国際ふ頭は2バース目の整備が早急に必要。臨港道路『上安久線』は、『西舞鶴道路』と同時供用できるように国に対しお願いします」。また、“JMU”については、「造船技術と舞鶴港の特徴を活かした新分野での事業展開を要請する。日本海側に造船技術のある個所が無くなること安全保障対策など、国の政策的な観点からも訴えていかなければならない」との回答がありました。

なお、小西会頭から西脇知事への要望概要は次のとおりです。

主な要望内容（抜粋）

1. 京都舞鶴港の機能強化【重点要望項目】

関西経済圏の日本海側唯一のゲートウェイである京都舞鶴港の更なる機能強化に向け、「舞鶴国際ふ頭」岸壁2バース目の早期着手、Ⅱ期整備および荷役機能の強化や高速道路ネットワークとのアクセスに不可欠な臨港道路「上安久線」の整備促進。「みなと」を核としたまちづくりの取り組みをお願いします。

2. JMU舞鶴事業所の新たな事業展開【重点要望項目】

JMU舞鶴事業所の新造商船建造事業からの撤退は、舞鶴市の経済に戦後最悪の影響を及ぼす緊急事態である。

造船業の合併や統合等による対応だけでは、国際競争に勝つための根本的な構造改革につながらないことが明らかであり、国の支援が必要。

日本海側唯一の大型造船所として、舞鶴の地に「造船の火種」を残すことが大切である。

国防や海の安全を支えてきた舞鶴で、艦船の新造や修繕ができる造船所として、また、日本列島のほぼ中心に位置し、高速道路による太平洋側へのアクセスも整備され、高いポテンシャルと大規模災害等に対するリダンダンシー機能を備えた舞鶴の地の利と、造船技術・設備が活きる新分野への進出について、国等への働きをお願いしたい。